

令和 6年 2月 20日

薬学研究科長 様

審査委員会

主査 大庭 義史

副査 大磯 茂

副査 太田 一寿

博士学位請求論文審査報告書および最終試験結果報告書

研究科名	薬学研究科	専攻名	医療薬学専攻
学籍番号	1731D03	氏名	松田 諒
論文題目	血液凝固制御因子プロテイン C の血液凝固カスケードを模した新たな発色基質法による定量的活性測定に関する研究		
学位論文概要と意義			
<p>本論文は、生体内において血液凝固制御や細胞保護活性を持つプロテイン C の活性測定法に関する研究である。申請者は、プロテイン C の血液凝固カスケードを模した新たな発色基質法を開発し、プロテイン C 欠乏血漿中に定量的に調製したプロテイン C 活性を定量的に測定することに成功している。開発した測定法は、既存の発色基質法では測定できないプロテイン C 欠乏症 type II にも対応している。既存の測定法に対する定量性についての非劣性も示している。</p> <p>本測定法が実用化された場合、周術期等における血栓症リスク評価、血栓症の病因のスクリーニングなどへの貢献が期待でき、社会的意義も高い研究と思われる。</p>			
判定			
〔論文審査の結果の要旨〕 論文の題目、内容、構成、図表等について予備審査（2024年1月16日）で各委員より指摘された点について、適切に加筆、修正が行われていた。			
〔最終試験の結果〕 公開諮問会（2024年2月19日）において発表（30分）および質疑応答（30分）が行われた。発表は申請論文の内容が聴取者にわかりやすく提示されていた。質疑応答は、開発した測定法の測定原理から将来の展望まで多岐に渡ったが、それぞれの質疑に対して概ね適切に回答していた。 以上のことから、本博士学位請求論文は博士（薬学）の学位を授与するに相応しいと判断した。			
博士学位請求論文審査および最終試験の結果 <u>合格</u> と判断した。			

※下線部に合格または不合格と記入して下さい。